

○32 番 佐藤花奈議員

県外進学者に対するUターン対策について質問します。

昨年の新成人議会でもUターン対策についての質問がありました。

その答弁としましては、奨学金返還金の一部補助制度と、「ぬま job」での市内企業の情報発信という例が挙げられておりました。

それによって都市部に流出した優秀な人材が沼津に帰ってくる例は増えたでしょうか？

Uターン対策の強化は地域の過疎化対策や活性化に直結することだと思います。

沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を拝見して、私の生まれ育った戸田地区は、少子高齢化が進み、公共交通の縮小や地域コミュニティの機能低下、担い手の高齢化と後継者不足による事業継承の困難化がすでに起こっていると実感しています。

私は現在、県外の大学に在学中です。地元には愛着はありますが、卒業後は現在居住している地域での就職を考えています。しかし、都市的魅力と自分らしい生活を楽しむ“ぬまづ暮らし”を実現してもらえれば、私と同じような考えを持つ若者が沼津に魅力を感じ帰ってきたくなるかもしれません。短期のアプローチだけでなく、中・長期的な計画をどのように進めていくのか、具体的な取り組みをお聞かせください。

○市長（頼重秀一）

佐藤議員の県外進学者に対するUターン対策についてお答えします。

本市では、平成30年度に奨学金返還支援制度を創設し、日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていた学生が市内の中小企業に就職し、市内に居住した場合、その奨学金返還金の一部を支援することにより、本市の中小企業への就職及び本市への定住の促進を図っております。

本制度は、就職前の事前エントリーという制度を採用していることを特徴としております。事前エントリーをしていただくことにより、就職活動前あるいは就職活動中から本市中小企業への就職及び本市居住を意識していただく効果があると考えております。昨年度、18人の事前エントリーがあり、その内11人が市内に就職されました。

また、「ぬま job」は、企業と求職者のマッチングの機会を増やすことを目的に平成29年3月に開設した就職支援サイトで、市内企業は、「ぬま job」に登録することで雇用を始めとする様々な企業の情報を自由に発信することができます。一方、求職者側は自身の情報をサイトに登録することにより、企業の各情報の閲覧が可能となり、企業への様々な問い合わせが自由に行えるようになっております。令和元年9月末

現在の「ぬま job」に登録している事業者数は356社、求職者の登録数は711人、1日平均アクセス数は1,792件となっており、利用者は右肩上がりが増加している状況にあります。こうした取り組みのほか、「ぬま job フェア」と銘打った合同就職面接会の開催を始め、就職支援協定を締結しています首都圏大学等を中心に訪問させていただき、就職担当者に対して直接UIJターンに関わる様々な取り組みの周知を図るなど、本市へのUIJターン就職の促進に努めております。加えて、多くの若い人達に沼津に帰ってきていただくためには、個々の施策のみならず、都市の魅力そのものを高めていくまちづくりが大切であると考えております。

昨年10月には、沼津市としても出店に向けて調整を進めてきた「ららぽーと沼津」がオープンしました。これにより、本市西部地区に広域から多くの人を集める拠点が生み出されました。約3,000人の雇用創出が見込まれるとともに、217店舗のうち約半数が県東部初進出、子育て世代にも優しい機能が充実していることから、好評をいただいております。今後も、企業誘致や産業の振興に戦略的に取り組み、若い人達が働きたいと思えるまちを目指してまいります。

また、中心市街地においては、いよいよ鉄道高架事業が新たな局面を迎え動き出しました。この事業によって中心市街地の回遊性が大幅に向上し、利用可能となる土地や空間も新たに生み出されることから、沼津駅周辺については、車中心から広場や緑など、人を中心とした公共空間を創出するとともに、拠点にふさわしいサービス機能等を集約し、魅力的なエリアとして整備していきたいと考えております。この他にも、中心市街地の空き店舗などをリノベーションにより再生し、エリア価値の向上につながる取り組みを平成27年度から推進しており、約40の新たな事業や店舗が創出され、「住みたいまちは自分で作る」をモットーに沼津でチャレンジする人が増えてきました。

また、佐藤議員ご出身の戸田地区におきましても、東京から移住した方により元民宿がリノベーションされ、ゲストハウスに生まれ変わり、戸田の魅力を発信しながらも首都圏や海外からの旅行客をもてなす新しい観光の流れを作り出しております。今申し上げたのはあくまで一例ですが、子育て支援、教育や福祉の充実なども含め、トータルでまちの魅力を高めていく必要があることから、現在、令和3年度からの10年間の沼津市の目指す将来都市像やまちづくりの方向性を定める、「第5次沼津市総合計画」の策定に、市民の皆さんと一緒に取り組んでいます。このように、今後、沼津のまちづくりは大きく動き出していきますが、若い皆様とも一緒になってまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、これからの沼津に是非注目していただきます。